

会 議 録		令和 3 年12月14日作成	令和 7 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府八幡警察署協議会（令和 3 年度第 3 回）		
開催日	令和 3 年12月 7 日（火曜日）		
時 間	午後 4 時30分から午後 5 時45分までの間（75分）		
場 所	京都府八幡警察署		
出席者	滝川会長、櫻井副会長、植村委員、坂口委員、石川委員、嵩委員 溝口委員、松浦委員 （欠席 上村委員） 計 8 人		
	署長、副署長、警務課長、地域課長、刑事課長、警務係長、広聴相談係長 計 7 人		
諮 問 事 項	1 地域警察官の装備資機材について 2 事件現場の現場鑑識活動について		
会 議 内 容	1 開会 司会 警務課長 2 協議 (1) 諮問事項説明 地域警察官の装備資機材について～地域課長、警務係長 装備品を装着した地域警察官をモデルに、各装備品について説明を行った後、交番勤務員が装備資機材を有効に活用し、犯人を制圧する想定訓練を実演した。 【委員】実際に装備品に触れ装着したが、こんなに重いものとは知らなかった。軽量化、強度の向上等改良の必要を感じる。 【委員】これほど重い装備品を、長時間装着して勤務する交番勤務員の苦勞が良く分かった。 【委員】犯人を制圧して逮捕する様子を拝見させていただいた。 実演した警察官は若いお巡りさんだったが、「迫力と逞しさ」を感じた。 【委員】コロナ禍でも工夫されて訓練をされている。 【警察】装備資機材は日々、改良が行われ、軽量化も図られている。装備資機材は犯人などを制圧する際に使用するものであり、その活用方法や、		

警察官同士の連携した訓練を今後も重ね、受傷事故防止にも努めていく。

(2) 諮問事項説明

事件現場の現場鑑識活動について～刑事課長、鑑識係長
鑑識活動の重要性等について説明を行い、事件現場を想定して足跡や指紋採取を実演した。

【委員】指紋は一人一人違うと聞くがそうなのか。

【警察】指紋は「万人不同」「終生不変」と言われ、人それぞれに違う特徴を持っている。

【委員】指紋や足跡の採取の様子を見せていただいた。

それまで目に見えなかった足跡などが浮かび上がり驚いた。

【委員】実際に指紋採取を体験させていただいた。

テレビのニュースやドラマで見ると、実際に行うのでは全然違う。
採取方法はどこかで研究されているのか。

【委員】鑑識活動は、細かく根気のいる大変な作業なんだと感じた。

【警察】指紋や足跡等現場の資料は、犯人の特定や、犯行を裏付ける重要な証拠となる。

鑑識活動は、日々、技術が向上している。当署の係員も業務の中で、新しい採取方法を研究している。

今後も鑑識技能の研鑽・向上を図るとともに、粘り強く緻密な現場鑑識活動に努めていく。

【警察】今回は、「体験型」の協議会を開催し、警察活動の一端を紹介・体感していただいた。

今後も各種訓練による技術向上に努め、皆さまの信頼と期待に応えていきたい。

3 事務連絡

令和3年度第4回八幡警察署協議会開催日については、日程調整の上、連絡させていただく。

4 閉会

以 上

会 議
内 容

第3回京都府八幡警察署協議会の開催状況

